

H30.9.19 魅力あるまちをつくろう！部会議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成30年9月19日(水) 19:00~21:00 東淀川区役所4階401会議室

出席者 魅力あるまちをつくろう！部会委員6名、他部会委員1名、府議会議員1名

議題1 平成31年度東淀川区運営方針(原案)

- ・送付資料1・2に基づき説明

議題2 これまでの区政会議の主な意見について・議題3 今後の区政会議について

- ・送付資料3・当日配付資料2に基づき説明

ワークショップ

- ・「平成31年度東淀川区運営方針(原案)について」

(区民まつりについて)

- 地域の魅力を発信する場として、区民まつりで団体別にブースを出すだけでなく、町会(連合)別に取り組んではどうか。
- 今年度は雨で中止であり大変残念であったが、中止の判断がもう少し早い方がよかった。
- 舞台に出演予定だった人達には練習の成果発表の場として、雨天時は区民ホールで舞台の発表ができるようにしてはどうか。

(共助の重要性・地域力について)

- 災害時だけでなく災害後にも共助の重要性を感じる場面が多かった。(飛来物の片づけが必要、避難所開設やブルーシートの配布などの情報発信・共有、一人暮らしの高齢者への声掛け)
- 町会費を払っているかどうかで地域の仲間であるかというくくりに感じられる。町会に入っていない人に情報が行き届いていないため、その隔たりを解消したい。

(情報発信の重要性)

- 情報発信については、対象によって有効な手段や場面が変わってくるが、災害時はインターネットやSNS(特にTwitter)が有効であったので、高齢者が集まる場でスマホ導入支援(操作研修や災害時用のアプリを入れる)をしてはどうか。

(次回本会時の主な報告内容)

- 災害をきっかけに人との繋がりの重要性を再認識した。向こう三軒両隣の再構築、企業の参加、大学生等を含めたつながりが、自助・共助に繋がる。
- 情報が繋がり広がるためにインターネットの活用が大事で、特に災害時にはSNSの情報発信力が高い。
- 区民まつりを地域の魅力が発信できる場として生かして行ってほしい。

- ・地域力が大事であり、それが防災・子育て・福祉にも繋がる。町会や地活協といった仕切りを

超えた繋がりづくりが重要である。また、区民の日常生活を少しでも快適にするために、制度の情報・福祉の情報・イベントの情報等を伝えることは大切であり、繋がりがあれば情報も伝わっていく。人との繋がり、情報共有について経営課題1で取り組んでまいりたい。

- ・経営課題5の情報発信について、この間の災害時、SNS（LINE、Twitter）アクセス数が想定以上にあり、SNSの活用の度合いが高いということが立証されているので、素案にはSNSだけでなくTwitter等細かい表記も追記していくとともに、今後ともSNSを活用した情報発信へ取り組んでいく。

（議員からの助言）

- ・この間の災害によりいろいろな課題が見えてきたところであり、平時の際の価値観を大きく変えていかなければならない事態に直面した。例えば当たり前にある電気が世の中のインフラのほとんどに関わっていること、スマホは1日しかもたないといこうこと、もっとアナログの方が災害対応力は強いかもしれないということである。また、地震の際にすぐそばに避難所があるものの誘導がないがために、淡路駅・上新庄駅などに人々が滞留したので、地域に住んでいる以外の方が常日頃から東淀川区に在るということを認識することも大事である。
- ・地域内にとどまらず、人との繋がりが一番重要である。